

第2回徳島市新産業振興施設（仮称）設置市民会議 会議録

日 時 令和元年5月17日（金）午後3時～午後5時
場 所 徳島市役所13階 第2研修室
出席者 委員6人、参考人、事務局

1 開会

2 議題

(1) 徳島市新産業振興施設（仮称）の整備について（案）

【事務局】

資料1 徳島市新産業振興施設（仮称）の整備について 説明

資料2 他施設事例 説明

資料3 徳島市が実施している主な産業支援事業 説明

【参考人】

- ・ビジネスマンが、出先でのメールチェック、メール送信や確認等をしてコワーキングスペース等を使えることは、ニーズがある。
- ・Wi-Fi環境の充実とそのセキュリティー、始発から終電までの営業時間（ここに行けば必ずある）を備えている施設は必ず使う。
- ・Wi-Fi環境のニーズはある。
- ・地域の賑わいを作り出すカギは食と観光。交流促進ゾーンには「食」を。
- ・一過性のイベントをしても人は寄ってこない。コンセプトを持った一貫性のある施設であること。これがリピーターを呼ぶ。

【A委員】

- ・営業時間は重要。9時から17時まででは、いけない。
- ・あれもこれもするという方針のように見えるが、300㎡の規模で本当に実現できるのか。
- ・不動産オーナーを交えないうちに、あれもこれもやるという曖昧な方針を立てた後で、物件にいろいろ制約があり、想定していたものと違うものになることがある。
- ・市として、どこは譲歩できて、どこは譲れないのか、予め決めておくべき。
- ・早い段階で不動産オーナーを交えた形で事業内容の具体性を高め、事業の取捨選択をすべき。
- ・徳島で会議をするときは、ひょうたん島クルーズ、徳島ラーメン等の徳島の名物を一通り体験してもらおう。その中に新施設も含めたい。

【B委員】

- ・施設の利用対象を、徳島市民に限定してはいけないと思う。

【事務局】

- ・施設の利用対象を、徳島市民だけにするか、市外の方も OK とするか、現時点では決まっていない。できるだけ多くの人に開放したいと考えている。

【C委員】

- ・市外の人には地場の製品（ドリンク）を施設で購入していただき、利用していただいてはどうか。
- ・出品する業者について、市内事業者だけにするのかしないのかについて、悩ましい。

【D委員】

- ・営業時間について、セミナーは18時以降に開催することが多い。

【事務局】

- ・御意見とコスト面とを踏まえて検討したい。

【E委員】

- ・阿波銀行新本店を整備している。本施設との違いを整理しておかないと後々問題になる。
- ・阿波銀行新本店との棲み分けや相乗効果も考え、誰でも使える施設が良いのではないか。
- ・阿波銀行は一民間企業であり、阿波銀行とだけ強く連携することはバランスに欠けないか。
- ・個人的には、徳島駅前と東新町に良きライバルとして、2施設が存在することは賛成。
- ・自由度の高い施設にしてほしい。

【事務局】

- ・金融機関との違いとして、本施設では公の事業や情報等を提供することができる「市の窓口」という点。
- ・阿波銀行では、スタートアップ支援としてショップ機能を備えている。重複した施設とならないよう事業を棲み分けたい。

【C委員】

- ・相乗効果を生み出してほしい。
- ・7月24日（藍の日）に2施設同時に藍に関するフェアを開催してはどうか。
- ・藍染めのキットを試すのはどうか。ものづくり体験を通して地場産業の魅力を PR するためには、より身近で簡単に出来るものでないといけない。
- ・木工でイスなどのキットも良いのではないか。

【A委員】

- ・継続性のある施設を作ってほしい。それを出来るのが公共施設の強み。
- ・話題性を作ることが大事。例えば、民泊では、宿泊者は話題にしたい人。見たことのない人がやってきて、話題にしてくれる。そういうシステムを作るのが大事。つまりそこに小物があるということ。

【B委員】

- ・東京の木育イベントに参加した際も、木工キットを使って身近で手軽に体験できた。工作キットは、女性にも人気で、今では、キットの製造が間に合っていない程盛況らしい。

【F委員】

- ・ものづくり体験を重視するなら300㎡よりも広げないと無理ではないか。

【事務局】

- ・改めて委員の皆様からの、ものづくり体験に対するニーズを感じた。検討したい。

【A委員】

- ・会議は残り1回。本市民会議ではどこまでの成果物を求められているのか。場所の決定や、事業の取捨選択までするのか。

【事務局】

- ・場所の特定には時間がかかると考えている。まずは、委員の皆様の意見をまとめていただければ、その他は市で決定したい。

以 上